

津房地区まちづくり懇話会会議録（要旨）

と き：平成29年 7月27日（木）午後7時～午後8時35分

ところ：津房地区公民館

出 席：

（市 側）市長、安心院支所長、産業建設課長、市民サービス課長、教育委員会 社会教育課長、消防本部 南部分署長

（事務局）秘書広報課長、企画財政課長

（津房地区）36名

進 行（秘書広報課長）

1. 市長あいさつ
2. 出席者自己紹介
3. 前回（平成27年度実施）の懇話会での質問に対するその後の対応状況（安心院支所長）
4. 市政報告（各担当部課長）
総合計画など主要施策の進捗状況について「まちづくりレポート」に基づき説明を行う
5. 意見交換会

意見①

地籍調査の件ですが、30年後に津房のほうに来るということでしたが、いつ頃来るのでしょうか。わかれば年度を教えてくださいののですが。

回 答

安心院・院内・宇佐で1か所ずつ行っており、1か所も数千万単位で行っていますが、なかなか思うように進まないという現実があります。隣接地から飛び飛びで出来ないということで、調査地区がいつになるか現時点でははっきりしませんが、今日のお話を伝え、目途がたっていれば周知するようにします。

意見②

先日、区長から木裳から西の台にかけて休猟区になると聞きました。猟友会に聞きましたが県から何も連絡がないとのことでした。人間が住むのが先なのか動物を保護するのが先なのか県に正してもらいたいと思います。今、シカが増えたのも、県の責任が90パーセントあると思います。一時期オスは捕って

よいがメスは捕ってはいけないと言っていた結果、シカが平たん部でも出るようになりました。その件をもう一度、県に正してもらいたい。

回 答

休猟区の件については、県がシカのエリアのことで区長に文書を渡しており、休猟区のエリアを設定しても駆除等については対応できると聞いています。また、家族旅行村あたりが休猟区になっているので、どういう考え方でエリアを設定しているのか、そもそも有害鳥獣が多くなっている中でどのように生態系を考えているのか県に伝え、聞いてみたいと思っています。

意見③

平たん部は部落ごとに2mの柵を囲ったりしているが、山間部は面積がばらばらで個人である場合90cmの柵ならシカは越してきます。個人で柵をする場合現物支給してくれるのでしょうか。

回 答

柵については、県の事業については業者の施工で要望がなかなか通らないということで、今年改正を行い、延長の分は現物支給することになりました。個人の分は市の補助で3分の2の補助となっています。県は1000mを超えると補助となり、市は200mを超えると市の補助となります。柵の高さについては、後日回答させていただきます。

意見④

昨年の11月13日発生の大火的の件ですが、前代未聞の大火的となった一因には、いざという時の南部方面の消防力において絶対的的人的パワー、他の応援部隊との連携体制の不足もあったように感じます。人員や設備の飛躍的補強は安易ではない状況下、市内消防力の配置の再検討、他地域や近隣市との支援出動の提携あり方、消防水利の事前調査とデータベース化などのソフト面での対応により図れる増強もお願いしたいと思います。

回 答

六郎丸の火災発生時の分署の救急車は出動しており、分署から消防車1台、本署から消防車が1台出動し、南部救急隊も参加し消火活動を行いました。9棟を損傷する火災となりました。今回の火災を踏まえ、分署管内の出動態勢を見直し、状況に応じ本署からの出動隊を増隊して対応するようにしました。消防団については、「宇佐市消防団大規模火災対応マニュアル」を策定し、消

防団の出動態勢の見直しなどを行い、迅速な火災防御の確立と円滑で効果的な消防団活動が行えるようにしました、今後は、近隣市町村の消防本部、消防団への応援態勢を視野に入れ対応していきたいと思います。

意見⑤

簡易水路の件で要望したいと思います。川崎地区に簡易水道の水源地があるのですが、貯水地は荒れ放題でどこに貯水池があるかわかりません。ましてやたんぼの排水が流れ込んでいます。安全安心は程遠い状況で、あまりにも不衛生です。草刈りくらいは川崎地区の有志でするので、ポンプ小屋のペンキ塗りくらいはしていただけないでしょうか。

回 答

簡水については、現場を見たうえでどういった対応が考えられるか大至急行いたいと思います。全般的な問題としては、水源地が浅い井戸のような水源地で、将来のことを考えるとボーリングしてというご提案がありましたので、どういうことが適切か考えていきたいと思います。

意見⑥

合併浄化槽を推進していると思いますが、排水が用水路に接続しているところが何件か見受けられます。浄化槽の設置業者に厳しく指導し、用水路に流しているところは早急に改善してほしいと思います。

回 答

浄化槽の件については、道路側溝に流すのであれば、土地改良区の許可等が必要になると思いますので、上下水道課と協議をして回答したいと思います。水質検査については、毎月1回薬剤師会に提出しているので、問題ないと思います。

意見⑦

まちづくり協議会の中では津房地区が一番高齢化が進んでおり、一番の深刻な問題は高齢者の交通手段です。現在、ふれあい号や路線バスを運行していただけていますが、実際、バス停まで歩いて行くことも出来ない人が多く、買い物や通院の支障になっています。市だけでは出来ないこともあり、住民ニーズにあったインフラ整備をしてほしいと思います。岩盤規制になっていますが、住民が困っているので、全国的なモデルになるようなことをしていきたいのでご協力をお願いしたいと思います。

回 答

津房地区は昨年4月～2月に初めてデマンドの実証実験をしましたが、どんな対策が良いのか有効策を見出していない状況です。公共交通については、十分ではないという声があるのは認識していますので、地域の特色、利用ニーズを把握して取り組むべきと思っています。岩盤規制については、総合戦略特区も含めて、地域がこれから取り組む場合は市も側面的に出来る部分は力になっていきたいと思っています。

意見⑧

集落の道路は救急車も消防車も大半が入らない狭い道です。安心院町の時代に陳情して、予算がつき次第どうにかしましょうということで話もいただき議会でも採択されていましたが、過去のことは関知しないという感じです。消防車が入れるように部分的に改良してほしいです。

回 答

丸田地区の道路については、一度現地を確認して対応策を講じていきたいと思っています。

意見⑨

毎年、学校の校長先生が変わります。リーダーは最低2年から3年おいてもらいたいと思っていますが、校長予備軍は20数人いるので、毎年変えないと校長になる順番があると言われました。地域を発展させるためには、校長先生が毎年変わると声が通りにくくなります。地域と親しくなることは必要だと思います。

回 答

意見を委員会に伝えたいと思います。校長の人事権は教育委員会にありますので、地域で役職と共に一緒に育てていかなくてはいけないということを教育長にもお話していきたいと思っています。

意見⑩

猪は1年間で1300頭獲っても被害が多くなったと感じます。いくら駆除しても、日出生台の発生源からこちらに来ないようにしていくことが必要なのではないでしょうか。本当の意味での対策、費用対効果を考えた対策をしてほしいと思います。

回 答

有害鳥獣対策について、集落単位で大規模にする場合はかなりがっちりしたものを作っていますが、個人である場合はどのようにするのがいいか、協議したいと思います。日出生台が発生源というのは、そのとおりだと思います。シカ等が多くて九州防衛局にはどうにかならないか話をしています。九重、玖珠湯布院など、一斉にする必要があるので、県、防衛局など広域で働きかけをしたいと思います。